

治水施設の整備

河道改修：

川幅を広げたり、川底を深くすることにより、大雨を流れやすくし、川から水が溢れることを防ぎます。

市川市の真間川流域では、現在、大柏川上流部および春木川において、河道改修を行っています。

なお、大柏川においては、川本来の水辺の自然の保全やうるおいのある景観をつくるため、「多自然川づくり」による整備を進めています。

<改修前>



(大柏川新川橋付近)

<改修後>



調節池：

大雨の時に、川の水を一時的にためて、下流で川の水が溢れないように調節します。

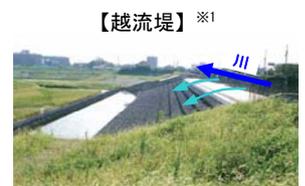
市川市の真間川流域では、大柏川第1調節池が整備され、現在は、国分川調節池の整備を進めています。また、市川市・船橋市・鎌ヶ谷市の3市にまたがって位置している大柏川第2調節池については、整備のための用地取得を進めています。

なお、大柏川第1調節池においては、通常時は市民が環境学習や憩いの広場などに活用できるように整備されました。国分川調節池においては、現在、通常時の利用方法の検討を進めています。

<大柏川第1調節池>



<国分川調節池> (整備中)



※1) 洪水が調節池等に入りやすいように、堤防の一部を低くしたものを。

排水機場：

下流の川や海の水位が高く、自然に雨水を排水出来ない時に、下流の水が逆流しないように水門や樋門を閉めて、ポンプの力で川や海へ雨水を排水します。

市川市の真間川流域では、春木川排水機場、真間川排水機場、根本排水機場が整備されています。

<春木川排水機場>



← 通常時の水の流れ ← 洪水時の水の流れ



※水門は、写真のように通常時には開門している。